

第27回ISOE運営委員会議事概要

1. 日時：平成29年11月 9日（木）9:00～18:00

平成29年11月10日（金）9:00～13:00

2. 参加者：27名（ISOE技術センター事務局；ATC， NATC， ETC， IAEATC、カナダ、韓国、ルーマニア、スペイン等のNational Coordinator（NC）、電力会社、規制機関およびNEA事務局）

3. 内容

- ETCがISOEの各技術センターを代表して、各々の技術センターが今年度を実施した活動内容（データ入力、シンポジウム開催等）及び各技術センターのPI（パフォーマンスインディケーター）を紹介した。
- 下記の国々のNCから国別報告がなされた；ベルギー、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、日本、韓国、ルーマニア、スペイン、スイス、英国及び米国。中国からの国別報告はここ数年来初めてであり、多くの参加者の関心を呼んだ。
- WGDECOM（デコミッションングのワーキンググループ）の議長より、活動報告および今後の活動計画が紹介された。
- WGDA議長より、活動報告および今後の活動計画についての発表が行われた。
- Terms and Conditions (2016-2019)の一部改定について；現状の「utility」に代えて新たに導入する用語「licensee」の定義がOECD/NEA事務局より提案され議論した。本件に関するコメントがあれば2週間以内にNEA事務局に連絡する。
- TCA（技術協力協定）に添付する一般規約の草案が紹介された。提示された草案は修正の余地が多いとの認識で一致した。
- WGDAとの次回（2018年12月）のJoint Topical Sessionのテーマについて検討した。WGDAが提案した廃炉等々に関するテーマは時期尚早とされ、「ALARAと良好な放射線防護が如何にコスト削減に繋がるか(How ALARA and good Radiation Protection can provide cost saving for industries...)」がテーマとして選択された。
- 次年度（2019年度）の新たな活動テーマが議論され、「発電所に於ける福島事故以降の職業被ばくに関するデータ収集と解析」が取り上げられた。
- NEA事務局の今後の人件費について議論した。NEA事務局より、2018年度は、1人・年の20%の人件費を用意する、との説明があった。結論はすぐには出ないため、ISOE内にタスクグループを新たに設けてNEA事務局人件費の検討をすることになった。タスクグループについては、本日午後開催されるビューロー会合で運営のための素案を作成することになった。
- カントリーレポート及びニュースレターの出版状況が紹介された。

- ・ 次期ISOE副議長と議長の選出について、(2018-2020) ISOE副議長は規制当局の人材とし、(2020-2022)のISOE議長はNATCの事業者から選出することで合意した。
- ・ 次回 ETC 主催の国際 ALARA シンポジウムが 2018 年 6 月 26-28 日にスウェーデンの Uppsala で行われる。
- ・ 次回の会議は、2018 年 11 月 12 日～16 日（於：IAEA、ウィーン）を目処とする事が提案された（2018 年 12 月 4-7 日、於 OECD/NEA パリに変更された）。

以上